

## 高松学習館運営協議会（令和7年3月）会議録概要

開催日時 令和7年3月13日（木曜日）午後6時30分～8時

開催場所 高松学習館 第1教室

出席者 [委員] 神山敬章（明星大学名誉教授）

丸山あかね（立川市社会福祉協議会）オンライン参加

梅田茂之（自治会連合会栄町支部）

師岡寛（自治会連合会高松支部）

川合博（立川市高松児童館）オンライン参加

難波敦子（立川市生涯学習市民リーダーの会）

小原雅俊（たちかわ市民交流大学推進委員会）

戸井田宗二郎（公募市民）

委任状 栗原政子（学習館利用団体）

欠席2名

[事務局] 庄司康洋（生涯学習推進センター長）、榛澤尚武（高松学習館係長）

富田瑞代（会計年度職員）

定数の過半数の出席により会議成立とする。

### 議事

1. 会長あいさつ お忙しいところご出席ありがとうございます。センター長もご出席ありがとうございます。先月のお話で学習館の工事、空調、雨漏り等の修繕で大変な状況の中でたかまつり文化祭を迎えることになる。安全安心を保ちつつ実施していけたらと思う。先日作品展と演奏会の準備会を実施したのでご報告もしたい。

### 2. 報告事項

- ・事務局より下記について報告があった。
  - ・地運協交流会(2/15 実施)について  
担当は錦学習館。「我が学習館の『推し』を語ろう」をテーマにグループに分かれて自由に話をして皆さん盛り上がっていた。
  - ・フレイル予防体操(2/6、2/20 実施)アンケート集計  
参加者は24名。講師も体操の内容も好評で継続の要望を多くいただいている。
  - ・誰でもコンサート(2/22 実施)アンケート集計  
出演はバンケット・プラスで金管五重奏の演奏は好評だった。参加者は46名。音量の関係で学習館では実施できないため、会場はさかえ会館。
  - ・防災講座(3/1 実施)アンケート集計  
参加者は10名。新しく作成された内水ハザードマップの見方と防災に備えた情報収集方法として防災アプリの操作を熱心に学べて好評だった。
  - ・第43回たかまつり文化祭・第1回準備会(3/6 実施)について  
作品展と演奏会参加サークルの代表者が集まって前半は全体会、後半は作

品展と演奏会に分かれて具体的な内容についてうち合わせをした。今年度  
に続き、作品展と演奏会のコラボということで、作品展開催中にミニ演奏  
会の実施、演奏会の日に合わせて作品展の一部を延長して展示を行うこと  
になっている。

(委員より)

A委員：地運協交流会の前回の担当は高松だった。まとめて発表しないで  
グループ内で自由に意見交換する形が踏襲されていて、気楽に参加できて  
いた。高松の「推し」は東京学芸大学の学生さん達から新しいアイデアを  
いろいろいただいて空気が変わってきていることや誰でもコンサートで広  
く多くの人達に対応していることを自慢させてもらった。

たかまつり準備会については、一昨年度までは作品展と演奏会の準備会は  
別々に実施されていたが、昨年度から合同で準備会を実施した後に作品展  
と準備会に分かれて詳細なうち合わせをしている。準備会の中で新しいア  
イデアを出してもらっている。東京学芸大学の学生さんに参加してもら  
うことや近隣の学校に協力いただいて子どもの作品を展示することで親子や  
関係者など、新たに来館される方々が増えるような提案をした。今年もさ  
らに広げていければとお話させていただいた。

B委員：交流会の参加人数と他の学習館の自慢はどんなことだったのかお  
聞きしたい。

A委員：参加者は30人位。西砂学習館は新しい住民の方が増えている地  
域でようこそ西砂へというイベントに注力している。それを基軸に児童  
館や学校と協力しながら進めている。錦学習館は児童館が隣にあり、商  
店街や自治連から強力にバックアップしてもらっている。部屋数も多い。  
高松学習館は市民リーダーやサークルと近い関係にある。それぞれの学習  
館のカラーとして表れている。

事務局：参加人数は地運協委員20人、職員13人だった。

A委員：地運協委員の方にもっと参加していただけたらと思った。皆さん  
お忙しいのでまた時期を考えて実施していただきたい。

- ・ 施設設備ほかについて 庄司センター長より報告があった。
  - ・ 暖房設備は1月末に復旧した。その後に屋上にあるセンサーの異常で2  
回停止したが、その都度復旧している。利用者の方にご迷惑をおかけし  
たことをお詫びしたい。施設自体の老朽化が進んでいる。
  - ・ 外壁工事について 館内に掲示および利用者にはちらしをお渡ししてい  
る。周知のとおり、工事期間中の7/1～9/30の間は学習館の一部利用が  
できなくなる。平日午前9時～午後6時は利用不可とさせていただき、  
平日午後6時～10時の夜間と土日祝日は工事がないため開館する。砂川  
学習館も工事中で利用施設が少なくなるため、なるべく皆さんに利用し  
ていただきたいので工事が無い時間帯は開館する。安全を確保するた  
め、工事中は建物内に入れないが、職員はいるので電話も通じる。  
3月議会で補正予算の確定後に業者入札を経て6月に工事の準備をして

7月8月9月に工事予定。利用者の方の安全を一番に考えてのことでご理解いただきたい。外壁はネットで覆って万が一タイルが落ちても飛散しないようにする。いくつかマンションでそういう事例があるとのことなので今回この工法を採用させていただいた。

- ・健康会館跡地の利用について 健康会館、休日診療の機能は5月に旧庁舎に移転する。移転後の1階と2階のスペースは行政利用として歴史民俗資料館や市史編纂室の資料等の一時保管場所、アール・ブリュット作品の置き場として調整している。福祉部では地域福祉アンテナショップとして活用が検討されている。市民の方の利用も想定している。今のところ、計画では3年後に学習館と図書館の機能として建て直すことになっているが、具体的なところはまだ決まっていない状況。まずは3年間は現在の建物を運用していくと思われる。

(質疑応答)

A委員：児童館は学習館の利用制限の影響はあるのか。

C委員：児童館でも貸し出し業務を行っているので団体利用の希望があるかもしれない。

B委員：学習館の建物は築40数年になるのか。老朽化が早い気はする。先ほど健康会館の跡地利用として、地域福祉アンテナショップの話が出たが、懇談会や健康に関する学習会等、一般市民や団体が使用できるのか。あるいは担当や主催する団体のみと決まっているのか。

センター長：細かい説明をまだ受けてないが、社会福祉協議会に運営をお願いする方向で地域福祉課が調整中で予算をあげている段階。

B委員：できれば多くの市民が利用できるようになればいいと思っている。3年後に建て替えということで、応急的なタイル張替え工事をするのか。

センター長：タイル張替えではなく、丈夫なネットで被せるような工法になる。

B委員：3年後に建て替えするなら、学習館を1階にしてもらえたら利用者にはありがたい。建て替えというと減築と聞くが、健康会館が移転するなら学習館のスペースを十分に取ってほしい。

センター長：ご意見として承りたい。

A委員：ひと涼みスポットとして例年学習館も健康会館も活用されているが、一番暑い時期にどこかに広げられないか、市民のために行政として注力していただけたらと思う。

センター長：確かにその機能が失われることは間違いない。関係部署の職員の中にも代わりになる場所がないかと投げかけている。公共施設の中では難しいかもしれないので民間の方にとまっているが。難しいが、こういう声があったことを担当に伝えたい。

A委員：自治連に相談、自治会館、学供等、例えば、電気代補助があれば人涼みスポットとして開放することに了解してくれる場合もあるかもしれない。

センター長：担当の方に伝えたい。

B委員：自習室も広く利用できるようにしていただけたらと思う。

B委員：アール・ブリュットはどの位のスペースを使用するのか。アール・ブリュットは市の後ろ盾を得られる団体なのか。

センター長：アール・ブリュットについては市長公約で市の方でも支持していく考えを持っている。4m×4m位のスペースで小さな部屋を使用する。

B委員：外壁工事のネットを張るのに3ヶ月かかるのか。

センター長：順調にいけば、7月と8月の2ヶ月で終わるかもしれない。天候等のことも踏まえ、予備で9月も入れて工期を3ヶ月としている。皆さんにはなるべく早く利用していただきたいと思っている。

一つ心配なのは、入札不調ということ。業界が人手不足、資材不足で工事がスムーズにできないというケースもある。工事の期間を変更するという場合もある。ご理解いただきたい。

B委員：建て替えについてはどの部署が担当するのか。

センター長：まだ決まっていない。建て替えの場合は専門のセクションを作る。若葉台小学校は教育委員会の中に専門職員を充てる。生涯学習推進センターなのか改革推進課になるかわからない。砂川学習館は学習館を閉館しているので砂川学習館係で全て行っている。

A委員：まだいろいろ課題がある。順次ご報告いただきたい。

センター長：そのようにしていきたい。

### 3. 協議事項

(1) 前回議事録（案）について 承認された。

(2) 高松学習館の取り組みについて

- ・ 令和6年度地域活性化事業について 全て終了した。  
令和7年度地域活性化事業について 新たな企画案を今後出し合い検討していくことになった。
- ・ 作品展での地運協ワークショップについて

事務局：前回の会議での話し合いを元に、企画書案を配布している。くるりんは予約済。難波委員からグリーティングカードづくりの提案があった。簡単にできるものを考えて準備してくれている。児童館からは昔あそびという話があった。直近であるワークショップについて協議いただきたい。

B委員：作品展最終日の6/1(日)に実施するワークショップについて検討したい。グリーティングカードづくり、昔あそび、地域活動紹介、市民リーダー活動紹介、地運協活動紹介、スタンプラリーとポップコーン等の内容が出ていた。他にも、先ほど申し上げた、学社一体の取り組みとして、子ども達の作品展や東京学芸大学の学生さんに協力していただいて何かできたらと思う。まずは児童館の昔あそびはどうか。

C委員：お正月に実施した駒、けん玉、羽子板の中で羽子板は初めての子が多

く順番に楽しんでいた。スペースが必要なので難しいかと思う。来週にボール紙でメンコづくりをして遊び方も教える。ベーゴマは覚えれば楽しいが難しいので児童館で広まってからと考えている。

A委員：確かに実習室や和室でできる昔あそびとなると限られてくる。

社会福祉協議会の方の地域活動紹介はどうか。

D委員：先ほどご質問があった、地域福祉アンテナショップについて、昨年度市内の地域福祉アンテナショップの動画を作成したので放映できたらと考えている。活動紹介や活動資源をスライド形式で投影することも可能。

A委員：前回話にあった第二小学校でのイベントは動画を撮ったのか。

D委員：個人が映っているので修正が必要となる。来場者が200人以上で想像より多かった。5年生が高齢者の所に行った時に展示会とゼロ円マーケットのちらしを配ってくれて反響が大きく賑わった。

事務局：動画を流す時の機材の準備について伺いたい。

D委員：パソコンとプロジェクターは持ち込む。ホワイトボードか壁に投影したい。

A委員：テレビ等あればいい。明るい会場なのでその方が見やすいと思う。

事務局：モニターがあるのでパソコンとつないで映し出せる。

D委員：ではモニターをお借りして、地域福祉アンテナショップや活動紹介の動画を放映したい。

A委員：先日児童館で流していた児童館紹介のスライドショーはどうか。

C委員：活動の記録写真をまとめて流していた。写真は保護者に承諾を得たものだけを流したりホームページにあげている。

A委員：自治連も公式の動画がある。そういうものも含めて地域紹介できればいいと思う。パソコンならループで繰り返し流せる。以前にコロナで演奏会中止の年に演奏会参加サークルの動画をロビーで流して通りかかる人が立ち止まって見てくださっていた。

グリーティングカードはどうか。

E委員：お手紙やカードとして活用できるように個々でデザインを工夫する。デコレーション用のシール等と立体的な飾りも準備する。簡単にできるものとバージョンアップしたもの、いろいろ用意しておく予定。

A委員：材料はどうするか。

E委員：色画用紙、はさみ、のり等が必要。学習館で準備をお願いしたい。

A委員：場所は実習室で実施する。昔あそびは和室で行う。市民リーダー紹介展示はご用意いただく。地運協の活動展示はどうか。

事務局；今まで作成した地域活性化事業の展示やもぞう紙に貼ったアンケートと実現した表示を加えたものを展示できたらと考えている。

E委員：他の学習館では地運協委員の顔写真や名前と紹介を掲示している。高松学習館でも地運協のメンバーをオープンにするのはどうか。

A委員：こういう要望を受けて話し合っただけで実現したとわかるようにしたらいいと思う。

E委員：学習館に直接言っていくこともいいけれど、こういうメンバーなら言

いやすいこともあるかと思う。

A委員：先日生涯学習推進審議会で西砂学習館に行ったが、普段から地運協メンバーの紹介が掲示されている。写真はなかったが、名前と紹介文があった。柴崎と幸は写真が貼ってある。写真は撮らないといけないが。

E委員：せめて名前と肩書だけでも掲示したらいいと思う。

A委員：スタンプラリーを実施してポップコーンを進呈するが、ポップコーンの機械は社会福祉協議会から借りられるのか。

D委員：4月よりコミュニティ備品の貸し出し窓口は市の担当部署に戻ると聞いている。確認して報告する。

A委員：来場者に記入してもらおうアンケート(竹の子の形、前はみかん形)についてはどうするか。例年来場者にコメントを書いてもらってもぞう紙に貼っていくが。

E委員：今年も何か考えてコメント用紙の型ともぞう紙に絵を描くようにする。

A委員：ポップコーンの素も手配していただけるとのことで機械も材料も用意できる。

E委員：飲み物は用意できるのか。

事務局：昨年の作品展でも飲み物は用意していない。学芸大共催のイベントの時には防災課で非常用の水をペットボトルでいただいていた。

A委員：自治連も年度が変わらないと協力できるかどうかわからない。

また状況を見たい。他に何かやりたいことがあればご提案いただきたい。

事務局：一点気になっているのが、全体会での話の中で、今年度作品展のオープニングセレモニーで電子ピアノのお披露目ということでミニ演奏会を実施した。作品展の最終日の方が多くの方が来場しているのでミニ演奏会を最終日に実施する方がいいという意見があった。作品の回収に来館される人も多い。ミニ演奏会の時間を地運協ワークショップと時間帯が重ならないようにする必要があると思うが。

A委員：作品展の終了時間は何時か。

事務局：最終日は午後4時に終了する。地運協委員と職員の体制によっては両方に上手く対応できるか心配がある。ワークショップも案なので時間帯を調整することも可能。準備会終了後に音楽サークルの方からお声かけていただいて、今年度電子ピアノを弾いてくださった方とフルート奏者の方が来てくださることになっている。演奏場所と時間は調整中ということでお伝えしている。ワークショップの時間との兼ね合いで、例えば、ワークショップの時間を前倒しすることも考えられる。

E委員：サークルの出展者が作品を回収に来られるのがだいたい午後3時頃だと思う。サークルの方達の意見としては作品搬出のために大勢来館する遅めの時間がいいということだと思う。

A委員：そうすると、地運協ワークショップの時間を午後1時～3時にして、その後に午後3時過ぎからミニ演奏会を実施ということも考えられる。

E委員：こちらからお願いするのであれば、ミニ演奏会を午後3時からで依頼したらいいと思う。地運協ワークショップは午後3時前には終了する。

F委員：作品展と演奏会、作品展の最終日に実施するミニ演奏会について話が分かりにくい。今、何時にするか、話し合いをするのではなくて、会長、副会長と事務局で事前に打ち合わせをする等して、この会議でこういう流れで実施するということをレジメとタイムスケジュールできちんと示してほしい。他の委員には理解しづらいのできちんと整理してほしい。

A委員：次回タイムチャートでお示ししたいと思う。作品展と演奏会が別個で開催されるということが分かりづらいと思う。図示したいと思う。

ミニ演奏会については、午後3時からということで依頼していただきたい。

事務局：来年度の地域活性化事業について今後アイデアを出して検討していただきたいが、7月～9月は外壁工事のため学習館が使用できないため日程的に後半に集中するようになると思う。児童館で実施するきりえ講座は大丈夫。

A委員：センター長からの先ほどのお話だと、工事がずれ込む場合もあるようだが。

E委員：急がないのであれば、先ずは地運協ワークショップについて事務局と打ち合わせをしていきたい。

A委員：すぐに決めないといけないことがなければ、学芸大共催の事業も含め、打ち合わせをしてからこの会議で資料をお示ししていきたい。

### (3) その他

- ・ 次回の会議開催日程について：4月10日(木)午後6時30分～第1教室
- ・ 被爆定見者その人生の軌跡ちらし：4/12 柴崎学習館にて実施。
- ・ きらり・たちかわ71号を配布した。
- ・ 学校たより 第2中学校区の小中学校のおたよりを配布しているのでお読みいただきたい。

### 4. 地域課題共有 時間の関係で省略した。

- ・ 高松児童館たより(3月号)配布

以上